

# 火山災害の軽減のための方策に関する 国際ワークショップ2007

—噴火未遂事象に学ぶ—

Workshop on Strategy of

Volcanic Disaster Mitigation 2007

- Case studies on the attempted eruptions -

## ワークショップの趣旨

- ①火山防災の行政のあり方について、これまでの世界での例を基に、日本で国・自治体がどのような戦略で臨むべきか
- ②また、学識者がどのように役立つ情報提供をするべきか、政策的・技術的な視点から、よりよい方向性を探る
- ③特に、噴火の前兆現象をとらえながらも、噴火しなかった事例(噴火未遂事象)について、どのような情報発信がなされたか、現場で課題となったことに視点を当てる

## ○日時と場所; 「主な内容」

平成19(2007)年12月16日(日) 13:30~17:30

山梨県環境科学研究所 多目的ホール(同時通訳付)

「2000年富士山低周波地震活発化と噴火未遂」

平成19(2007)年12月18日(火) 09:30~16:00

(独)防災科学技術研究所 和達記念ホール(同時通訳付)

「海外・国内の噴火未遂事象に学ぶ

—どのように対応するか,判断するか?—

## ■参加の申込み: 参加費無料

氏名・所属・参加希望日(16, 18)  
を明記の上, 問い合わせ先(下記)  
にメール, ファックスまたは電話  
でお申し込み下さい。

なお, プログラム等詳細は下記のURLをご  
覧下さい。

URL: <http://www.bosai.go.jp/>  
<http://www.yies.pref.yamanashi.jp/>

主催(独)防災科学技術研究所

山梨県環境科学研究所

後援: 気象庁・内閣府・文部科学省

日本火山学会・

富士山火山防災協議会(予定)

## 主要講演者(敬称略)

Jake Lowenstern(米国地質調査所)

イエローストーン火山観測所)

Giovanni Orsi(イタリア国立地球物理学火山学研究所)

ベスピオ火山観測所)

Herman Patia(パプア・ニューギニア)

ラバウル火山観測所)

齋藤徳美(岩手大学)

広瀬弘忠(東京女子大学)

北川貞之(気象庁火山課)

井口正人(京都大学防災研究所)

火山活動研究センター)

鎌山恒臣(京都大学大学院理学研究科)

## お問い合わせ先:

(独)防災科学技術研究所火山防災研究部

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1

Tel: 029-863-7537, Fax: 029-851-5658,

E-mail: [kazan-ws07@bosai.go.jp](mailto:kazan-ws07@bosai.go.jp)

山梨県環境科学研究所

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾

5597-1

Tel: 0555-72-6211(代), Fax: 0555-72-6204

□各会場への交通は下記のHPをご参照下さい。

(独)防災科学技術研究所

<http://www.bosai.go.jp/jpn/kotsu.htm>

山梨県環境科学研究所

<http://www.yies.pref.yamanashi.jp/traffic.htm>